

夕張における映画祭及び夕張映画祭の歴史

	夕張市実質主催の <ゆうばり国際ファンタスティック映画祭>	夕張映画祭	同名の映画祭が、 NPO団体により開始
1990年	第1回 ゆうばり国際冒險・ファンタスティック映画祭		
1991年	第2回 ゆうばり国際冒險・ファンタスティック映画祭		
1992年	第3回 ゆうばり国際冒險・ファンタスティック映画祭		
1993年	第4回 ゆうばり国際冒險・ファンタスティック映画祭		
1994年	第5回 ゆうばり国際冒險・ファンタスティック映画祭		
1995年	第6回 ゆうばり国際冒險・ファンタスティック映画祭		
1996年	第7回 ゆうばり国際冒險・ファンタスティック映画祭		
1997年	第8回 ゆうばり国際冒險・ファンタスティック映画祭		
1998年	第9回 ゆうばり国際冒險・ファンタスティック映画祭		
1999年	第10回 ゆうばり国際ファンタスティック映画祭	第1回JCF学生映画祭	
2000年	第11回 ゆうばり国際ファンタスティック映画祭	第2回JCF学生映画祭	
2001年	第12回 ゆうばり国際ファンタスティック映画祭	第3回JCF学生映画祭	
2002年	第13回 ゆうばり国際ファンタスティック映画祭	第4回JCF学生映画祭	
2003年	第14回 ゆうばり国際ファンタスティック映画祭		
2004年	第15回 ゆうばり国際ファンタスティック映画祭	第5回JCF学生映画祭	
2005年	第16回 ゆうばり国際ファンタスティック映画祭	第6回JCF学生映画祭	
2006年	第17回 ゆうばり国際ファンタスティック映画祭	第7回JCF学生映画祭	
2007年	夕張市が財政再建団体入りを表明し、 市運営による開催を中止 (有志による「ゆうばり応援映画祭」が開催)	(通算8回目) 夕張国際学生映画祭2007	
2008年		(通算9回目) 夕張国際学生映画祭2008	ゆうばり国際ファンタスティック映画祭 2008
2009年		(通算10回目) 夕張映画祭2009	ゆうばり国際ファンタスティック映画祭 2009
2010年		(通算11回目) 夕張映画祭2010	ゆうばり国際ファンタスティック映画祭 2010
2011年		(通算11回目) 夕張映画祭2011	ゆうばり国際ファンタスティック映画祭 2011

注意 夕張映画祭は、財政破綻前の夕張市が主催していたくゆうばり国際ファンタスティック映画祭との協賛企画で1999年に生まれた
 <JCF学生映画祭>が発展した映画祭です。現在の同名のNPO法人主催の映画祭とは一切、関係性はありません。

www.yubarifilm.com/2011/

夕張映画祭2011 ACG部門



COOL JAPAN X COOL CHINA

COOLJAPAN in CHINA 2011.7.14-17
COOLCHINA in JAPAN 2011.7.24
COOLJAPAN MEETS COOLCHINA 2011.10.28

主催 夕張映画祭2011実行委員会



企画・制作 夕張映画社 by COOL JAPAN

一般社団法人日中アニメ産業連合会

夕張映画社

COOLJAPAN 株式会社

「夕張映画祭2011」開催にむけて

1999年、ゆうばり国際ファンタスティック映画祭の10周年特別協賛企画としてスタートしたJCF学生映画祭は、**次代を担う若者の可能性の発掘!**をテーマに2001年までの3年に亘り、ゆうばり国際ファンタスティック映画祭の協賛企画として夕張の地で開催し、第4回から第7回は沖縄(那覇市共催)、東京(お台場/大江戸温泉内)、愛知(愛知万博公式イベント)、東京(東京国立博物館内)と、地方と東京の交互開催を行って参りました。

第7回開催中の2006年秋に、夕張市の財政破綻とゆうばり国際ファンタスティック映画祭の中止のNEWSを聞き、JCF学生映画祭のOBと、学生の有志により**映画を通じて夕張の方々にエールを贈ろう!**という想いで、【学生よ、熱き情熱で夕張の雪を溶かせ!】というスローガンのもと全国の大学生が参加し、JCF学生映画祭の生まれた地夕張で2007年2月に**夕張国際学生映画祭2007**を開催し、さらに続く2008年も、NPO法人ゆうばり観光協会様との共催で**夕張国際学生映画祭2008**を開催いたしました。

その後、2010年に、通算10回目となる**記念映画祭**を**夕張映画祭2010**として開催し、**学生の枠**を飛び出して若きクリエーター全般に門戸を開き開催いたしました。

そしてこの度、東日本大震災の発生を受け、私たちは開催意義及びプログラムを再検討致しました。

3.11後、夕張の地元の方々と対話を結果、多くの市民の方々の認識が、**ともにや、夕張は財政破綻してかわいそうではなく、夕張は自立しなければならない。東北の方々は、人的な失敗ではなく、自然災害で被災されているのだから**という変化が見えていました。

結果**夕張映画祭**は、もちろん夕張の地域振興に貢献することを念頭におきながらも、夕張のみならず、日本全体を元気にする、夕張

発信の全国向け、全世界むけのイベントでありたいという想いを強くし**映画・映像・アニメで日本を元気に!そして国際交流!**をモットーに、新しい次の10年につながる第一歩としてこれからの**夕張映画祭**を開催していきたいという想いに達しました。

日本復興のきっかけとして、重要であるインバウンド(海外からの日本観光)の強化が上げられますが、とりわけ、隣国の中国からの訪日者を増やすことは重要であります、東日本震災の影響での来日観光客が大幅に減少しています。

そこで、本年の予定プログラム自体も再検討し、今年の**夕張映画祭2011**は、日本の誇るべきACGコンテンツ(アニメ関連:アニメ、コミック、ゲーム)を中心とした、中国との文化経済交流を目指して、**<COOLJAPAN×COOLCHINA>**をテーマに、社団法人日中アニメ産業連合会と共に開催で、7月14日から中国の湖南省長沙市における**<COOLJAPAN in CHINA>**、そして夕張市での7月24日の**<COOLCHINA in JAPAN>**、10月28日の東京での**<COOLJAPAN MEETS COOLCHINA>**のイベントを国内外の3都市で開催する運びとなりました。

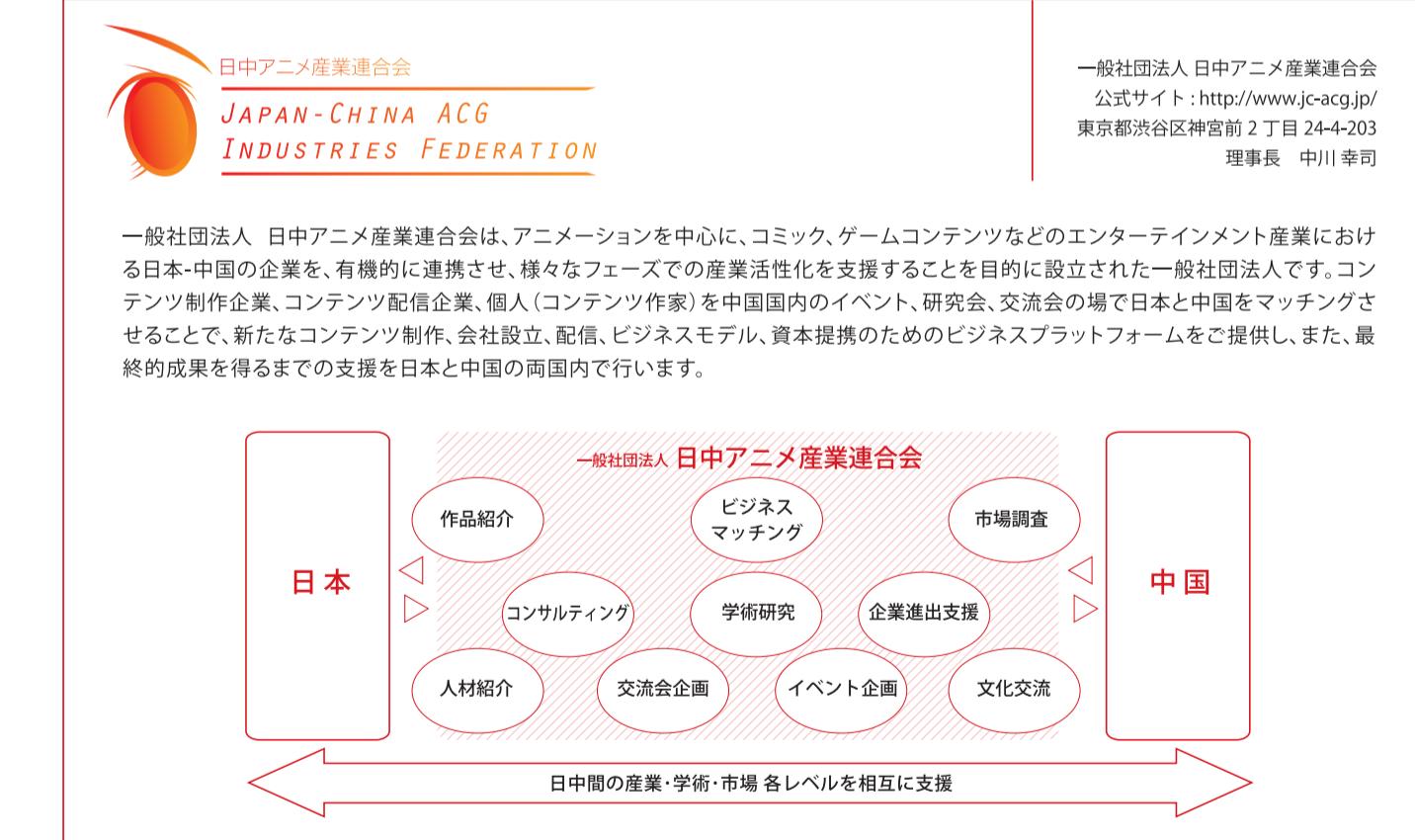
現在、ACGコンテンツにおいては世界的に見て、日本に優位性はあるものの、さらなる発展と新しい可能性を常に模索しつつ、海外に目を向けた戦略をたてていくことが重要であると考えられています。

私たちも、この**夕張映画祭**を通じて、アニメ産業の発展と、国際交流にも寄与できることを願って、力を注いで参りたいと思っております。

夕張映画祭2011実行委員長 高秀蘭
一般社団法人日中アニメ産業連合会 理事長 中川幸司
中日動漫産業連合会 理事長 林恵春

「夕張映画祭2011」開催概要

□主 催	夕張映画祭2011実行委員会
□共 催	一般社団法人日中アニメ産業連合会
□企 画・制 作	夕張映画祭 by COOLJAPAN株式会社
□制 作・運 営	夕張映画祭2011運営事務局
□後 援	外務省/北海道教育委員会/毎日新聞北海道支社/夕張タイムス/ 北海道放送/北海道テレビ放送/北海道文化放送/札幌テレビ放送/ FMノースウェーブ/SL/CampusNavi/Canjam
□協 力	NEWWAVE/ライフエンタテイメント/PHUUK/JCF学生映画祭/JSTARS/ OverDriveDesign/CNBroadcasting/パラボリック・ラボラトリ/Thanks Lab./ EVANS/SHOWMAN'S/フライハイワーカス/夕張リゾート/JA夕張
□実 行 委 員 長	高秀蘭(映画プロデューサー)
□副 實 行 委 員 長	中川幸司(一般社団法人日中アニメ産業連合会理事長)
□実 行 委 員	林恵春(中国清華大学教授/中日動漫産業連合会理事長)
□ゼネラルプロデューサー	太田雅人(株式会社GETTI代表取締役/JCF学生映画祭ファウンダー)
□顧 問	額賀剛治(COOLJAPAN株式会社代表取締役) 望月三起也(漫画家) 石川光久(株式会社プロダクション・アイジー代表取締役社長) 和泉将一(マッドハウス北京経理) 広川ひろし(株式会社ダイナモピクチャーズ代表取締役) 事務局長 額賀剛治(COOLJAPAN株式会社代表取締役) 副事務局長 川端基夫(株式会社Thanks Lab.代表取締役) 札幌事務局長 澤田隆二(株式会社EVANS代表取締役) 長沙事務局長 貞方祥(SHOWMAN'S代表) 事務局涉外 黄政凱(フライハイワーカス株式会社代表取締役) 制作担当 末野宏行(株式会社パラボリック・ラボラトリ代表取締役) 原浩之(PHUUK代表)
□運 営 事 務 局	事務局長 額賀剛治(COOLJAPAN株式会社代表取締役) 副事務局長 川端基夫(株式会社Thanks Lab.代表取締役) 札幌事務局長 澤田隆二(株式会社EVANS代表取締役) 長沙事務局長 貞方祥(SHOWMAN'S代表) 事務局涉外 黄政凱(フライハイワーカス株式会社代表取締役) 制作担当 末野宏行(株式会社パラボリック・ラボラトリ代表取締役) 原浩之(PHUUK代表)



「夕張映画祭2011」実行委員会



実行委員長 高秀蘭(こう・しゅうらん)/シャーリー・カオ

台湾テレビのプロデューサーとしてキャリアを積み、1986年ニューエーブを設立。以降、中国語圏の優れた監督の製作・配給に携わってきた。カンヌ映画祭グランプリを受賞した台湾の侯孝賢(ホウ・シャオシェン)監督の「非常都市」(1988年)、「戻夢人生」(1991年)のプロデュースを始め、中国の張艺謀(チャン・イーモウ)監督の「紅夢」(1991年)、「活着」(上海ルージュ) (1995年)、「何平」(ハーピン)監督の「袁愁花火」のポストプロダクションを務めた。陳凱歌(チエン・カイゴー)監督とは「さらば、わが愛」(朝日別姫)(1993年/カンヌ映画祭パームドール受賞)、「花の影」(1996年)「始皇帝暗殺」(1998年)、「鳳凰が愛」(2008年)、新宿インシデント(2009年)のプロデュースを手掛けている。



副実行委員長 中川 幸司

1980年2月29日(埼玉県行田市生まれ) 2002年 慶應義塾大学商学部卒業後、イギリスへの語学留学後、IT関連やコンサルティング事業に携わりながら、北京大学の大学院に留学。2008年 北京大学大学院 光華管理学院(経営修士)修了 2010年3月 株式会社ゲッティコミュニケーションズ(現GMHoldings(株))取締役就任。2010年10月 GMHoldings(株)代表取締役社長に就任。北京大学の留学生に、在中国の日本人留学生を支援するNPO法人を立ち上げ、日本人留学生の生活支援を行うとともに、現在、在日本のアジア留学生や、在アジアの日本人留学生の支援並びに親善友好をテーマに、日本とアジアのかけ橋となることを、事業を通して実現することを目指している。現在も、北京大学大学院光華管理学院 国際経営及び戦略管理学科後期博士課程所属し、日本人初の北京大学の経営学の博士号取得を目指す。現在の主な研究テーマは「アジア地域の企業戦略」、「ICT政策による日本の国際競争力強化」、および「国際的市民活動組織の経営戦略」



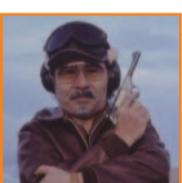
副実行委員長 林 惠春

湖南省常德市中央政府公務員を経て、1992年(中国改革開放初期)、他の有識者と共に共同出資し、ソフトウェア開発会社である「創智ソフトウェアパーク(Powerise Software Park)(パーク=産業基地という企業形態の一つ)」を設立し、1998年、中国深センにて上場し、2006年、子会社の売却を契機に、チャイナソフトウェア国際有限公司(現集団)の副総裁に就任。その後、個人投資家を経て、清华大学继续教育学院コース教授、清华大学国際エンジニアリングプロジェクト管理研究院・特聘教授(兼任教授)・清华大学CEO国際人材交流プロジェクト顧問・清华大学精细化管理研究センター研究員となる。「広州市産業連合会」(1600社加盟)との強いコネクションを持つ。また、長沙市出身者として、アニメ産業基地(中国全土の67%)を有し、外部受託制作会社ではなくオリジナルアニメ制作会社のシェアトップ5位である中国アニメ基地の長沙市のアニメ産業に闇を。また、清华大学教授という立場から、「中国中央政府、北京市政府」ならびに中国に事務本部を置く「企業家トップ層」との強い繋がりを持つ



実行委員/ファウンダー 太田 雅人

1965年 8月4日生まれ。1984年 大阪府立大手前高等学校卒。1989年 関西学院大学経済学部卒。1989年、日本電気(株)(NEC)入社。1991年、NEC退職後、GETTIグループ創業。GETTIグループ創業者、株式会社GETTI代表取締役、GETTIグループ代表。米国法人GETTI INC CEO。1986年の学生時代、ラグビー同好会に所属しながらJCF日本サークル連盟[®]を設立し、企業側からの学生活動の協賛・支援の窓口を担う。その中で、企業の学生マーケティングニーズに気づき、ヤングマーケット向けの広告・プロモーション・情報配信を行う。学生ビジネス集団を設立。大学卒業後、日本電気(株)(NEC)に入社。1991年NEC退職後、GETTIグループ創業。現在、1業種1社の企業と、学校法人・地方自治体をプライアントに、ブレイク型で展開するBranding&Consulting事業を行う。株式会社GETTIの代表取締役。大学時代に掲げた<Borderless Communication>をグループロゴ[®]とし、グループ会社を通じて、<世代間>、<地域間>、<国際間>の障壁を超えるコミュニケーションの構築を目指す。特にアジアにおいて、**「日本と各國との学生の交流と友好」を念頭に、**<ONE ASIA>構想を推進中。また、これらの日本を支える学生を中心とした**<将来世代>**と、戦後の日本を牽引[®]された**<経験世代>**と、今、高成長の恩恵を受けて育ってきた頑張る人々**<現役世代>**が力を合わせて**「日本を元気にすること」**を、事業を通して実現することが目標。****



顧問 望月 三起也

神奈川県横浜生まれ。吉田竜夫氏のアシスタントを経て、'60年少年クラブ増刊号にて『特ダメを追え』でデビュー。'64年少年キングにて『秘密探偵JA』を連載。大ヒットとなりその後多くの作品を少年誌に発表。'68年にはマイク・ハスラーのペーネームで『狂い犬(マッド・ドッグ)』を連載し、青年誌にも進出。また『最前線』等の戯記物も多く、いずれも高い評価を得ている。'69年からは『ワイルド7』を10年に渡り連載。単行本は増刷を重ね、すでにその数は800万部を超える。大のサッカーファンで、自らが監督兼プレイヤーを務めるサッカーチーム「THEミイラ」には、TVタレントを含む多くの著名人が参加し、サッカー人気の普及にも貢献。



顧問 石川 光久

アニメーション制作会社 株式会社プロダクション・アイジー代表取締役社長。1958年 東京都生まれ。大学卒業後、竜の子プロダクションに入社。1987年、独立し創業。プロデューサーとして数多くのアニメーション映画、ゲーム制作などを手掛けている。プロデュースを手掛けた作品には、米国ビルボードチャートで1位となり「ジャパンアニメーション」部門のきづけを創ったとされる劇場「GHOST IN THE SHELL/攻殻機動隊」(1995年)や、日本のアニメーション作品として初めてカンヌ国際映画祭コンペティション部門にノミネートされた「イノセンス」(2004年)、また2009年に公開された実写映画「ラスト・ブラッド」の原作にあたる劇場「BLOOD THE LAST VAMPIRE」(2000年)などがある。



顧問 広川 ひろ

CG映像制作会社 株式会社ダイナモビックチャーチーズ代表取締役社長。1966年生まれ。大学卒業後、国際証券(現三菱UFJモルガンスタンレー証券)勤務の後、1995年ピュアルサイエンス研究所に入社。CG、VR、モーションキャプチャ、立体映像のプロデューサーとして多数のコンテンツを作成。2004年ダイナモビックチャーチーズを設立し代表取締役に就任。日仏合作のフルCG映画「よなよなベンギン」(2009年)はじめ多くのCG映像制作に携わっている。



顧問 和泉 将一

アニメーション企画制作会社「マッドハウス北京」総経理(CEO)。1974年 台北生まれ。慶應義塾大学環境情報学部を卒業後、株式会社博報堂に入社。1999年に社内ベンチャーとして事業計画を立案し株式会社インディビジョ(現、博報堂DYインダストリーソリューションズ)を設立し、マンガ/アニメ/ゲーム/キャラクター開発/映画/出版/音楽などのコンテンツビジネスを幅広く手掛けている。2005年、株式会社マッドハウスに入社。ライツ事業と海外事業に従事し、2009年にマッドハウス北京に出向、2010年に転籍し総経理に就任。テレビ作品の他、劇場作品ではアシスタントプロデューサーとして「HIGHLANDER」(2008年)で米国との合作、「よなよなベンギン」(2009年)ではフランスとの合併、初の日中合作による劇場アニメ「チベット犬物語」(邦題)は2011年7月に中国で先行上映される。



ゼネラルプロデューサー/事務局長 頷賀 剛治

大学卒業後、コンビニエンスストアの「株式会社ローソン」に就職するも、夢見る若者に感化されミュージシャンを目指す。これが魔の8年間のバイク便生活へ。結局、音楽では生活ができない。そのため買ったマッキントッシュでイラストレーターを目指す。そんな祈り吉本興業と学生援護会「an」が主催する「BATクリエイターズオーディション」に応募し優勝。吉本興業初のクリエイターチーム「BAT」に在籍する。その後、「三和ファインス」の豆キャラクターの制作などを手掛け、現在は「SL(ファイブエル)」を発行するライフエンタテイメント株式会社の代表取締役に就任。2010年 COOLJAPAN株式会社代表取締役。

「夕張映画祭2011」COOLJAPAN in CHINA

『COOL JAPAN in CHINA』2011 長沙国際動漫遊戲展が開催されました!

社団法人 日中アニメ産業連合会がCOOL JAPANブースを出展。

夕張映画祭2011「COOL CHINA in JAPAN」に先駆けて、
日本からの優秀なアニメ作品、『COOL JAPAN』を中国で紹介。

7月14日~17日に中国国内でも有数のアニメ・コミック・ゲーム産業(ACG)基地となっている湖南省長沙で2011長沙国際動漫遊戲展が開催されました。中国政府文化部および湖南省・長沙市政府の支援のもとでの市を挙げてのアニメ・コミック・ゲーム産業イベントで、期間中は長沙市と周辺都市全てがACGイベント一色に染まります。

2011長沙国際動漫遊戲展 公式サイト
<http://www.hnhappy.com/>



アニメ・コミック・ゲーム産業は、重点文化産業として中央政府の強い指導と予算によりバックアップされることが決定しています。その中でも湖南省は中心的な存在、オリジナルアニメだけを見ると、約5割が湖南省で制作されています。また、長沙市は中国で最も多くのアニメ産業基地を有し(中国全土の67%)、外部受託制作会社ではなくオリジナルアニメ制作会社のシェアトップ5位まですべて長沙市に集積しています。

今回、社団法人日中アニメ産業連合会もブース出展、日本からのアニメ作品を中心にCOOL JAPAN アニメ作品の展示紹介を行ってきました。会場では6 m × 6 m の展示ブースにポスターや弊社の紹介などをパネル展示、JAPANアニメのファンや製作関連会社の方々が次々に訪れ、様々な質問をいただき興味の高さを実感。

今、中国では日本のアニメとCOOL JAPAN文化に非常に高い人気が集まっています。また、中国国内のACG産業からも、その技術力の高さから羨望の眼差しで見られています。日中アニメ産業連合会は、そういった中国からの市場と産業の強いニーズに応える架け橋として、日中相互の文化交流とビジネス交流を深めるために、今後も積極的に活動を続けています。



玩转 动漫星城
International Anime Comic & Game exhibition
Changsha 2011

2011长沙
国际动漫游戏展

「夕張映画祭2011」COOLCHINA in JAPAN

開催日時 | 2011年7月24日(日) 開催場所 | ホテルシーサーパーク

特別上映

喜羊羊与灰太狼
(シヤンヤンとホイタイラン)

[ストーリ] とあるところに、奥さんに房に散かれているオオカミがいました。そしてある日、オオカミの奥さんが羊の肉を食べたいと言い出しました。オオカミは色々考えた末、「風邪をひいて隔離されている羊の群れにまぎれ込めば、たくさん羊を捕まることができるのではないか?」と思いました。そしてオオカミは何かして風邪をひくことを試みますが、どうしても風邪にならないません。

[監督紹介] 東京原創動力文化伝播有限公司、広州原創動力文化伝播有限公司が映像制作、アニメ制作と一緒にした映像制作会社です。当社が開催で販売した映像作品は合計で2000分脚本通り（国家の動画事業者）といつぱりあります。2005年「喜羊羊与灰太狼」（原題：オオカミ）を制作動画が制作する中国初の動画制作「動火車」（原題：アニメ急行）は、現在6000回の放送を見て、北京、上海、广州、杭州など平均視聴率1.0%を記録。2009年の3月には「喜羊羊与灰太狼」を香港テレビ局にて放送。また台湾のMOMOチャンネルMTVも有する見栄向（チキン）として放送。放映地区は130以上の地域に及んでいます。原創動力は中国オリジナル作品であることを約束し、自分たちの民族文化的な良さにユニークで繊細なエタニティ属性のアニメーション作品、映像作品で世に出していくています。

寻找幸福的地铁 (幸福探求列車)

[ストーリ] 平凡な小市民サラリーマンの張小盒は、ベンチャーキャピタルとのミーティングへ社長に向に行きましたとき、思いがけず不思議な地下鉄に乗りってしまった。張小盒はその奇跡の力をもった地下鉄の力で借りて自分の欲望と幸福をつかもうとして、ここから奇想天外な冒險が展開する。列車は苦み駅、もぐれ駅、孤獨駅…等々を通じ、多くの困難を体験した張小盒は最後に自分の幸せを見つけるが…。

[監督紹介] 楊曉龍 ポックスタット創設者、ネット漫画キャラクター「張小盒」の原作者。独立系動画会社・宿命電影クリエイティブ代表取締役。インターネットマガジン「イーネット」編集長。CCTV2より2009年度創作者トップ10に選ばれる。エイバ音40周年受賞。書籍に「中国トップ10ブランド戦略集」、マーケティング2.0を著す。桂林市出身。

哆唻幻想曲 (悪寒ファンタジア)

[ストーリ] 1970年代中国、あるひどい男の子は、自らの「震え」をずっと抑えることができない状態だった。そのため、その男の子はいためられ、からかわれたりしていた。男の子にとっては、「普通」の行動をとることは非常に難しくて、ついには、「震え」のひどさに、皆から小屋にじめられてしまつたのだ。男の子は意外にも、その小屋が自分の「震え」を最も受け入れてくれる場所だと感じたのだった。

[監督紹介] 皮三 1971年、山西省出身。2005年、五亞動画有限公司を設立。現在は、北京在住。クリエイティブ・プロデューサーとして、中国の多様な世界観を持つ、独立系オリジナルアーティスト制作を手がける中国人の中でも代表的な人物である。監督はアニメ作品に「ハッパハンリーシリーズ」、「ハフ娘」シリーズなど、中国でのネットアニメで代表的な作品となっています。

藏在树后的小小熊 (熊さんと風船)

[ストーリ] はずかしがりやの熊さんが、林の茂みに隠れて、遊園地のスライク君の風船に見えていました。でも、熊さんは人間じゃないので、入っていけません。そのとき一人の熊のジャケットを羽織った子供が熊さんの目にとまりました。その子供は、スライク君から風船を受け取りました。熊さんは、スライク君の子供のことを自分と同じ熊だと思い、勇気を奮ってスライク君のそばに出て行きました。

[監督紹介] 朱青 2011年、中国伝媒大学動画学部卒業。合作作品<ANiWOW!風車オリンピック>第三回都市学生文化創造力デザイン大會二等優等賞。2009年合作作品<かわいぽっぽ>は2009 ANiWOW!新委員会特別賞受賞。<迷路>は第五回金指揮賞受賞。<秦时明月>は第五回国際動画大賞にて入賞。また2011杭州動映賞実質賞CF制作技術(テレビ及びアニメーション)大中华地区一等賞。

诺诺森林 (ノーノーの森)

[ストーリ] 美しい森林の中、頭のいい原始人アーブとその仲間達、粗暴なクーザ、慌てん坊のワーワ、小心者のリサ、狂ったマガ、優しく素朴なミー、そして活発で元氣な赤ん坊のワーサーは一緒に部落に住んでいた。また部落には他にも優雅なパンダのパンパン、汚らしいイノシシのグングン、住処を作るのに必至のビーバーのドードー、共謀で野獣なキツネのラーラなどが住んでいた。アーブと仲間たち、動物たちは毎日遊び、果実を採ったり、成長していく中で一緒に冒險を楽しんでいた。アーブはこうした危険と隣合わせの生活のなかで困難に立ち向かい、同時に知識を手に入れ、お互いに助け合い、みんなで愉快にくらせる場所をつくりいく物語。また、こうした登場人物たちの成長を描きながら現代の若者の生活にも多くの示唆を与える。

[監督紹介] 沈亮平 玄機テクノロジー総務部、オリナカルアーティスト制作部監査室アーティストマネジメント担当。2009年広州動画節全国十佳優秀アニメーション作家。2010年「添加アニメ賞」、2011年「最佳新人CEO」に選出。2010年、浙江省十大文化新人ビルダーハンソンに選出。2009年、杭州市文化藝術獎優秀貢獻獎。2008年、杭州市優秀藝術家。

秦时明月 (秦朝の輝く月)

[ストーリ] 秦の始皇帝が六国を統一し、中国初の帝政を開始した時期から楚の霸王項羽によって落城させられ滅ぼすまでの30年間を描いています。作中では、各種の民間伝承的な歴史話が織り交ぜられ、現代中国にも深く影響を与えた歴史的人物などが横断的に登場し、伝承の中華古代文化が激しく折り混ざり合い、時代の大転換となる大戦争のシーンも登場します。大変革の時代の中、少年が平民の身分からちあがめていく過程では、横暴な政權や、別離な離、友情、愛情など悲喜こもごもの画面が多彩に表現されています。

[監督紹介] 沈亮平 玄機テクノロジー総務部、オリナカルアーティスト制作部監査室アーティストマネジメント担当。2009年広州動画節全国十佳優秀アニメーション作家。2010年「添加アニメ賞」、2011年「最佳新人CEO」に選出。2010年、浙江省十大文化新人ビルダーハンソンに選出。2009年、杭州市文化藝術獎優秀貢獻獎。

闯堂兔 (闘闘ウサギ)

[ストーリ] 『闘闘ウサギ』はカラフル靴下を履いた、まるまると太った可愛い白うさぎ。隣町の女の子からラブリーに可愛がってもらうために奮闘している。頑張るぞ!と偏にカワイさ發揮で誠意努力中!挫折をしてもじけないぞ!敵、友情、愛情など悲喜こもごもの場面が多彩に表現されています。

[監督紹介] 沈亮平 玄機テクノロジー総務部、オリナカルアーティスト制作部監査室アーティストマネジメント担当。2009年広州動画節全国十佳優秀アニメーション作家。2010年「添加アニメ賞」、2011年「最佳新人CEO」に選出。2010年、浙江省十大文化新人ビルダーハンソンに選出。2009年、杭州市文化藝術獎優秀貢獻獎。

「夕張映画祭2011」

COOLJAPAN MEETS COOLCHINA

開催予告
夕張映画祭2011 COOL JAPAN×COOL CHINAプロジェクト 第三弾
『日中ACGフォーラム
COOLJAPAN MEETS COOLCHINA』を
2011年10月28日(金)に東京 原宿で開催します!

今回、第一弾としてCOOLJAPAN in CHINAをテーマに中国湖南省長沙市で開催された「2011長沙国際動漫遊戯展」にてCOOLな日本のアニメ作品をCOOL JAPANブースで紹介、第二弾は夕張市でCOOLJAPAN in JAPANとしてCOOLな中国のアニメ11作品を日本国内で紹介。

そして、第三弾、テーマをCOOLJAPAN MEETS COOLCHINAとして、両国のアニメ作品が東京で一同に会する、まさに日中アニメ作品がコラボレーションする日中合作のフォーラムを開催いたします。

この東京フォーラムでは、中国からの招待作品に加え、選りすぐりの日本のアニメ作品も上映、日中のアニメ作品を同時に体験、両国のCOOLの「今」を実感できる企画となっています。

当日は、日中の著名アニメ制作会社の方々を会場にお招きし、アニメの文化的な話題はもちろん、日中それぞれのアニメ産業の市場動向やマーケティング戦略、未来展望やクリアすべき問題点など様々なテーマでパネルディスカッションをおこなっていただきます。

また、アニメ作品に加え、コミック、ゲーム作品の紹介も予定しています。アニメ・コミック・ゲーム(ACG)の三つのメディアを総合的に上映・展示・体験する、ACGエンターテイメントのメディアフェスティバルでもあります。

今回、行われる三つのプロジェクトは、日本初・中国初のACG産業の日中相互連携イベントであり、これから日中のACG(アニメ・コミック・ゲーム)産業を振興するためのグランドオープンとなることを目指しています。また、相互のACG産業に関わるクリエーター達の人的な交流もなされるため、新しいクリエイティビティーやマジネーションが生まれる基礎となる国境を超えたネットワークも構築されます。

文化交流という広範な意義だけでなく、実際の現場に関わる方の人的交流から産業振興につながるという点において、これまでになかった日本・中国両国のACG産業コラボレーションを実現させます。

□ イベント名 | 日中ACGフォーラム COOLJAPAN MEETS COOLCHINA
□ 期 間 | 2011年10月28日 金曜日
□ 開 催 場 所 | 東京都渋谷区神宮前COPONNORP

www.coponnorp.com/